



←協会ロゴ&エンブレム  
 2016年7月制定。協会員・加藤隆久氏の作。「ボール・ラケット・汗」をモチーフに、中央にボール、紡錘形はラケットと汗を表す。「ボールを追って流そう爽やかな汗！」を呼びかける「1973」は協会創立年。



阿部五輪代表だ  
 阿部一三(13歳)が  
 柔道66kg級五輪代表。  
 丸山城志郎との24分に  
 及ぶ激闘を制す。妹・詩  
 うたとそろって内定。

旭・庄原会長の挨拶を聞く瀬戸チーム。左は旭・森市長



瀬戸協会―旭連盟対抗団体戦は12月13日(日)、旭・晴丘で行われ、瀬戸が23勝18敗で3連勝した。2000年からの対戦成績は瀬戸の15勝4敗1分け。

# 旭戦 瀬戸3連勝

## 23勝18敗

### 瀬戸チーム (五十音順)

- 田中 彦 和 彦 央 和 整  
 田中 剛 正 央 光 剛 正  
 田中 口 浦 中 口 浦  
 田中 樋 三 樋 三  
 石川 均 信 樹 二 均 和 将  
 磯村 垣 村 垣 二 均 和 将  
 江川 西 太 夫 健 秀 秀 峰 尚 基 正  
 川西 浩 夫 健 秀 秀 峰 尚 基 正  
 近藤 藤 夫 健 秀 秀 峰 尚 基 正  
 近藤 谷 尚 基 正  
 高島 尚 基 正  
 高木 尚 基 正

開幕4戦 互角スタート  
 午前9時、旭の晴丘コートに集まる。瀬戸に比べ旭の人数が多い。やはり地元開催の差か。両会長、市長あいさつのおと記念写真を撮り、試合開始(5番コートは練習用とし、使用せず)。  
 開幕4戦に瀬戸は男複3試合に川西健・田中整、石川・樋口、江川・三浦のペア、女複に高木・宮城を送り出す。結果、開幕4戦は2勝2敗のイーブン。



両チームの激戦を物語る戦績表

### <閉会の辞>

◆瀬戸・稲垣会長「また勝たせてもらいました。前半の劣勢にはヒヤリとしましたが、弁当で挽回しました。来年は瀬戸・南ヶ丘で待っています。旭は全集中で来るそうですが、こちらでも全集中で返り討ちしますよ!」

◆旭・庄原会長「両チームお疲れさま。こんなコロナの時期に開催できて皆さんに感謝します。来年は全集中で瀬戸へ乗り込みます!」

余裕の会長戦有終飾る  
 最後は恒例の両チーム会長戦。瀬戸の稲垣・磯村組―旭の庄原・山本組。稲垣・磯村が5―2のリードでマッチポイント。旭・山本のバックのショートクロスへのスライスがネットにかかって幕。瀬戸が有終の美を飾った。

前半、「5差」を追う  
 互角の開幕戦のあと、瀬戸は思わぬ連敗がつづき、一時、旭に「5勝」の差を許した。午前中はなかなかこの差が縮まらないう。正午前、瀬戸また「マイナスイ」。それでも粘り強く追いかけ、ようやく午後1時半に勝敗が並んだ。  
 今年も高カロー「398弁当」の効き目が表れはじめたいらしい。  
 その後は旭の追撃を振り切って「貯金街道」まっしぐら、逆に「5差」をつける。22勝17敗として会長戦へつないだ。

### <旭戦 瀬戸の戦績>

瀬戸―旭対抗戦第1回は1974年、旭中学で。中断時期もあったが半世紀近い伝統の一戦。交互会場開催。

00 △21勝21敗	11 ○26勝23敗
01 ○23勝20敗	12 ○26勝24敗
02 ○23勝19敗	13 ○19勝16敗
03 雨で流れ	14 ●11勝15敗
04 ○25勝14敗	15 ○26勝20敗
05 ●7勝9敗	16 ○20勝13敗
06 ●14勝22敗	17 ●6勝14敗
07 ○24勝15敗	18 ○19勝10敗
08 ○21勝18敗	19 ○30勝17敗
09 ○26勝21敗	20 ○23勝18敗
10 ○28勝22敗	00年以降15勝4敗





# 稲垣会長を4選



稲垣将樹会長

総会決定事項の会長選出では、自薦・他薦を募ったが該当者なし。会場から「稲垣氏続投！」の声があいさつ。

## 親睦ダブルス 交流深める

総会は正午から30分ほどで終わり、加藤スポーツ提供の「抽選会」に移った。スポーツグッズが当たった

挙がり、満場の拍手で稲垣会長4選を決めた。稲垣会長は「来年度もやります。みなさん、よろしく協力ください」とあいさつ。



協会創立記念大会。親睦ダブルスを楽しむ協会員



## ラケット江川氏

抽選会のあとは男女別に分かれ、午前に引き続き再び4ゲーム先取・セミアドの親睦ダブルスを行ない、交流を深めた。老若まじえた、にわかペアながら絶妙のコンビネーションも見せ、スタンドの拍手を浴びていた。

総会後は12時半ころから「お楽しみ福引き」Tシャツ、くつ下、ボールバッグに続く1等の「張り上げりラケット」は、水曜練習会によく顔を出した江川竜二氏の写真が引き当てた。約50人の総会出席者にもれなく「ニューボール」2個入りを贈り、総会の幕を閉じた。

## 大坂 最優秀選手に 誌

米誌スポーツ・イラストレイテッドは12月6日、今年の最優秀選手の1人に全米テニスで2度目

の優勝を果たした大坂なおみ(日清食品)を選んだ。人種差別に反対し黒人被害者名入りのマスクを着用した行為を「社会不正や警察の暴力と戦おう」と、目を引く形で自身の影響力を行使したと称えた。



全米でマスク姿の大坂

## <今後の日程・21年>

### ◆理事会&理事親睦大会

21年2月14日(日)午前11時~午後5時・市民公園で。午前11時~午後1時は体育館で理事会。のちAコートで親睦ダブルス。理事に往復はがきで案内。出欠返信を。雨天時は理事会のみ。

### ◆春季テニス教室

21年3月7、14、21日の日曜3回。市民公園で午前9時~午後1時。先着60人。費用=1人4,500円。受付=2月3日~24日。

### ◆瀬戸地方高校生大会

21年3月23、24日の2日間。市民公園で。瀬戸近郊の高校団体戦(単2・複1)。参加費=1チーム4,000円。学校関係者に案内。

## 協会員 頑張った

- ◆名古屋グリーン月例レディ  
1ス9月杯GⅢ 1位L①松永明子・石塚千鳥②志水綾子・嶺井純子③伊藤和子・小田忍  
◆同10月杯GⅢ(5日) 1位L①山本友美・寺田由希子②三嶋美咲・杉山瞳  
◆同10月杯GⅢ(15日) 1位L①松林恵美・政田知寿子②菅貴美子・福浦友紀子③舟田聡子・中谷直子  
◆同10月杯GⅢ(26日) 1位T①志水綾子・嶺井純子②高橋利恵・政田知寿子  
◆10月杯GⅣ(29日) 1位T①伊藤豊子・山下恭子 2位T①鳥山美樹・堀部園子②中川晶己・田中孝子 3位T①金光康子・中村麻由  
◆11月杯GⅢ(5日) 1位L①三井ナミエ・青木晴美②田中麗子・安藤美帆子 2位L①三嶋美咲・杉山瞳  
◆11月杯GⅣ(9日) 1位L①花井美香・山崎伸子②光岡由美・西園美佐代 2位L①浦崎寛子・櫻村理恵②高木直美・大越三代子  
◆11月杯GⅡ(12日) ①小麦崎さくら・中川恵美②杉山瞳・政田知寿子  
◆同11月杯GⅣ(19日) 1位L①宇野亜貴子・竹田晶子②山崎伸子・内田七織 2位同①神谷法子・山口久美子 3位同①陰平裕子・北原みずほ②川口理恵・前原魅捕③高木直美・秋田珠美  
◆同11月杯GⅢ(26日) 1位T①舟田聡子・中谷直子②伊藤和子・小田忍③宮谷幸子・山本みずすず 2位T①山下恭子・鳥山美樹②小林啓子・浅井美香③下川美代子・其田智子 3位T①近田礼生・後藤裕紀子②嬉野秀子・久保田佳果

## <クイズ3Q>

- Q1: 初のベテラン年齢別大会、男子1部2部、女子1部2部の各優勝者は?
- Q2: 今年のATPファイナル、優勝者は?
- Q3: プロ野球・日本シリーズ、MVPは?

- ◆同11月杯GⅡ(30日) ①三芽京子・太田奈津②原美幸・佐々木夫美③石川みゆき・中川美恵
- ◆同12月杯GⅢ(3日) 1位T①吉村葉子・三嶋美咲②大池利恵・富山訓子③坂井裕美子・菅弥生 2位同①伊藤奈穂・大島志穂②阿部知子・藤本千佳③鳥山美樹・渡辺聡子 3位同①古田順子・舟田聡子②神谷法子・田中りき③広瀬里美・渡辺ひろえ
- ◆女子マスターズ(11月17日、口論義) 複①池本麻里絵・榎谷莉香②泊沙知・桑原諒子③大津山由美・上野レイ子
- ◆ダンロップスリッソン女子複(11月25日・東山) オープン①榎谷莉香・笹川佳倫②浅田恵里香・西尾明日香③難波記子・杉村由加里・長瀬百合衣・後藤珠里 50歳以上①小栗由美子・稲田正子②鈴木淳子・梅沢尚子・犬飼陽子・いしかわやえみ・加藤千鶴・椎葉幸子
- ◆尾張旭市長杯 男子複A①山本浩一・金森充②森田・梅村③近藤小森 同B①片桐雅博・片桐宏紀②草野・新井③佐藤・青木 混複A①山田一夫・山田理恵子②三木・丹羽③横山・西村 同B①松原稔久・畑野美穂子②森田・吉村③庄原・庄原
- ◆緑区諸の木レディスD(12月1日) 1位G①櫻村理恵・浦崎寛子 2位G①植田幸子・藤原千恵子

「壮年・レディース大会」は今年から「ベテラン年齢別」に名称を変え、2部制とした。男子1部は足立秀禎・富士和仁組が優勝。同2部は山崎悟・服部哲久組がV。女子1部は岡部尚子・飛山るみ子組が優勝。2部は山岡久美子・小林ひとみ組が制した。

### ベテラン年齢別大会 成績

〔ベテラン男子1部〕(参加19組)  
**黒瀬・松本組 惜しくも準V**  
 優勝=足立秀禎・富士和仁(チーム愛牧)  
 準優勝=黒瀬達也・松本直也(NAS)  
 第3位=久米孝幸・八百山浩幸(チーム愛牧)  
 富田賢二・高田武資(フリー)

〔男子2部〕(参加16組)  
 優勝=山崎 悟・服部哲久(MTTクラブ)  
 準優勝=福島浩平・加藤 勤(TeamBlueMountains)  
 第3位=横尾和弘・杉浦敏光(フリー・みろく)

〔ベテラン女子1部〕(参加10組)  
**黒川・金子組 決勝で涙**  
 優勝=岡部尚子・飛山るみ子(ストロベリーフィールズ)  
 準優勝=黒川栄子・金子清子(アップ!)  
 第3位=西田里奈・蜂谷有加里(フリー)  
 舟田聡子・牧野比佐江(ロング×3)

〔女子2部〕(参加11組)  
 優勝=山岡久美子・小林ひとみ(アップ!)  
 準優勝=宮城清子・森みづほ(フリー)  
 第3位=立花布差子・金光康子(フリー)  
 五島美佐子・藤原千恵子(フリー)

### <女子1部>

黒川栄子・金子清子 (アップ!) 60  
 加藤千里・長 清香 (BEARS) 62  
 岩成育久子・天野さやか (ロングロングロング) 62  
 舟田聡子・牧野比佐江 (ロングロングロング) WO  
 井戸田嘉奈子・磯村千沙子 (JUEGO・丸新) 63  
 伊東陽子・平松美和 (フリー) 60  
 岡部尚子・飛山るみ子 (ストロベリーフィールズ) 75  
 中谷直子・大脇千登世 (ロングロングロング) 61  
 西田里奈・蜂谷有加里 (フリー) 64  
 浦野優子・森山由香 (JUEGO)

**<3決> 西田・蜂谷 6-1 舟田・牧野**

### <女子2部>

宮城清美・森みづほ (フリー) 75  
 中川美恵・小川由香子 (ロングロングロング) 61  
 辻田和子・松下美智子 (アップ!) 62  
 水野直美・市来浩美 (ピンクレディース) 63  
 立花布差子・金光康子 (フリー) 60  
 遠藤理恵・内藤京子 (チーム呑助) 75  
 五島美佐子・藤原千恵子 (フリー) 62  
 川西育子・稲垣陽子 (MATC) 60  
 藤田由佳・鈴木さよ子 (フリー・チーム呑助) 62  
 山岡久美子・小林ひとみ (アップ!) 60  
 加藤ゆかり・加茂冷子 (MATC)

**<3決> 立花・金光 7-6(5) 五島・藤原**



男子2部4強。優勝の山崎・服部組(前右)、準優勝の福島・加藤組(前左)、3位の横尾・杉浦組(後右)と豊田・桜井組(後左)



女子2部4強。優勝の山岡・小林組(前右)、準優勝の宮城・森組(前左)、3位の立花・金光組(後右)と五島・藤原組(後左)

〔男子評〕  
 足立組、「100歳」に続き優勝  
 3連覇をめざした水野・高木組は足立・富士組に敗れた。足立・富士は久米八百山との師弟対決を制し、黒瀬・松本との決勝にも競り勝って優勝。100歳に続くV。3決は久米・八百山が富田・高田に辛勝。  
 2部は山崎・服部組が福島・加藤組を下して優勝。

〔女子評〕  
 岡部・飛山組 うれしい初V  
 西田・蜂谷組はV候補の浦野・森山組を破ったが、岡部・飛山組に5-7で惜敗。岡部組は決勝で黒川・金子組に6-3で快勝し、歓喜の初V。磯村・井戸田組は不戦敗。3決は西田組が舟田・牧野組に快勝。  
 2部は山岡・小林組が宮城・森組に完勝。

男子・超45歳 女子・超40歳(今年末現在)  
 男子1部は45歳以上、2部は55歳以上。55歳以上が1部へ出場するのは可。逆は不可。女子1部は40歳以上、2部は50歳以上。50歳以上の1部出場は可。逆は不可。



# 足立・富士

## <男子1部>

### 水野・高木V3の夢散る



<3決> 久米・八百山 7-6(3) 富田・高田

## <男子2部>

### 福島・加藤組 準V



<3決> 横尾・杉浦 7-5 豊田・桜井



栄えの初V

男子1部優勝の足立・富士組(前左)、準優勝の黒瀬・松本組(前右)、3位の久米・八百山組(後)



女子1部4強。優勝の岡部・飛山組(前右)、準優勝の黒川・金子組(前左)、第3位の西田・蜂谷組(後右)と舟田・牧野組(後左)

## 今年から2部制

[年]	[男子]	[女子]
2004	松元一彦・高木 順	江口ひとみ・渡辺和代
2005	田中俊雅・喜多幸雄	安江真理子・高木淳子
2006	喜多幸雄・田中俊雅	高木淳子・松原由布子
2007	古賀昭一・稲垣将樹	高木淳子・小笠原まり子
2008	古賀昭一・稲垣将樹	高木淳子・小笠原まり子
2009	横山真和・加藤昌也	高木淳子・小笠原まり子
2010	古賀昭一・稲垣将樹	作石 節・吉村鮎美
2011	岩間正人・近藤峰夫	高木淳子・松原由布子
2012	岩崎民男・金川誠二	河合利江・大島美香
2013	加藤昌也・三浦正光	作石 節・吉村鮎美
2014	加藤昌也・水流 忍	河合利江・寺田ひとみ
2015	高木 順・水野 斉	河合利江・寺田ひとみ
2016	山口嘉裕・殷 耀晨	浦野優子・森山由香
2017	八百山浩幸・三浦正光	浦野優子・森山由香
2018	水野 斉・高木 順	宮城清美・川口 綾
2019	水野 斉・高木 順	犬飼陽子・大島美香
2020	1部 足立秀禎・富士和仁	1部 岡部尚子・飛山るみ子
	2部 山崎 悟・服部哲久	2部 山岡久美子・小林ひとみ

# 2年 男子単 三田 (栄徳)

# 2年 女子単 横山 (聖霊)

# 優勝

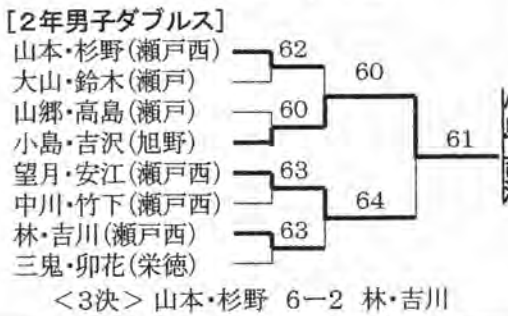
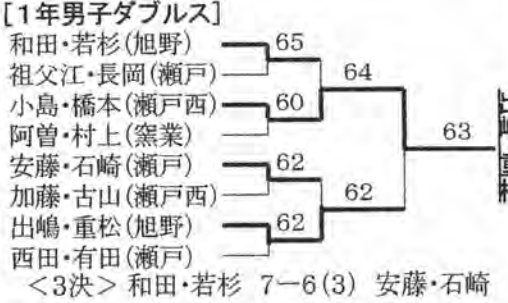
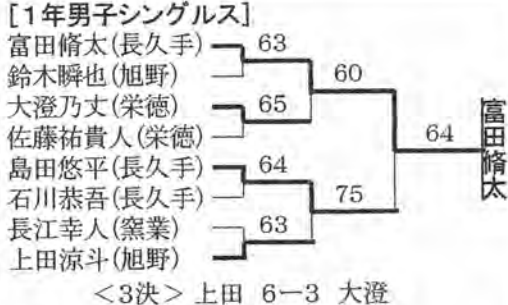
瀬戸地方高校学年別大会

第100回瀬戸地方高校生学年別大会は10月31日(土)と11月3日(火)の2日間、市民公園で男女201人が各4部門に熱戦。成績は上記の通り。戦績表は準々決勝以降(女子はスミアなし)。

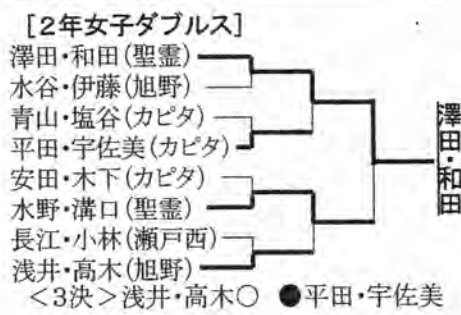
- ▽1年男子シングルス
  - 優勝||富田 脩太(長久手)
  - 準優勝||島田 悠平(長久手)
  - 第3位||上田 涼斗(旭野)
  - 大澄 乃丈(栄徳)
- ▽1年男子ダブルス
  - 優勝||出嶋大喜・重松拓真(旭野)
  - 準優勝||小島岳大・橋本焔雅(瀬戸西)
  - 第3位||和田統富・若杉凌生(旭野)
  - 安藤颯馬・石崎 宙(瀬戸)
- ▽2年男子シングルス
  - 優勝||三田 晃太郎(栄徳)
  - 準優勝||井上 翔太(瀬戸西)
  - 第3位||松原 唯斗(瀬戸西)
  - 平田 一陽(長久手)
- ▽2年男子ダブルス
  - 優勝||小島魁晟・吉沢聡太(旭野)
  - 準優勝||望月陽太・安江悠真(瀬戸西)
  - 第3位||山本翔太・杉野龍志(瀬戸西)
  - 林 侑冬・吉川世雄(瀬戸西)
- ▽1年女子シングルス
  - 優勝||尾関 果歩(旭野)
  - 準優勝||可児 涼香(聖霊)
  - 第3位||黒川 愛加(瀬戸西)
  - 船津 未来(栄徳)
- ▽1年女子ダブルス
  - 優勝||野澤えみな・神野 花(聖霊)
  - 準優勝||松井美知・松本成未(旭野)
  - 第3位||石橋玲香・小塚あかり(長久手)
  - 小牧紗弓・三輪璃乃茜(長久手)
- ▽2年女子シングルス
  - 優勝||横山 若音(聖霊)
  - 準優勝||加藤 妃奈乃(瀬戸西)
  - 第3位||田口 夢華(瀬戸西)
  - 畑野 紗輝(旭野)
- ▽2年女子ダブルス
  - 優勝||澤田なな美・和田夏希(聖霊)
  - 準優勝||水野沙菜・溝口妃乃(聖霊)
  - 第3位||浅井優希・高木樹香(旭野)
  - 平田 倫・宇佐美琴菜(カピタ)



男子の表彰式。賞状を受ける2年単優勝の三田(栄徳)



↑  
女子の表彰式。手前は2年単優勝の横山(聖霊)。11月3日・市民公園にて







**ルールQ&A**

Q まだ準備ができていないのに相手がサーブを打ってきた。ポイントを失いました。プレアのやり直しはできますか？

「待つてほしい」をしっかりと伝えよう

A 例えば、レシーブのポジションに入ったら、靴紐がほどけていることに気づいた、あるいは顔の周りに虫が飛んできたとしても、このようにプレーに支障が出そうな場合には「ちょっと待つて！」と相手に伝えなければなりません。レシーブの準備ができていないなら、そのことを相手にしっかりと伝えるのです。質問のケースではそれができていないから相手サーバーは「問題なし」と判断してサーブを打ってきたのです。例えば「待つて！」と言ったのにサーブが打たれた場合は、その時点でプレーをせず、「ち



よつと待つてほしいという意思表示を続けることです。そうすれば相手も気づいてサーブのやり直しになります(それがセカンドサーブなら、セカンドからのやり直し)。

よつと待つてほしいという意思表示を続けることです。そうすれば相手も気づいてサーブのやり直しになります(それがセカンドサーブなら、セカンドからのやり直し)。



「遊YOUダブルス」最後は優勝者を囲んで記念写真

**優勝3人「Vみそ」**

遊YOUダブルス今年度第2期最終回・第15回(12月9日・北コート)は恒例の賞品付きダ

場て死去。60歳。86年W杯「神の手」ゴール5人抜きで母国アルゼンチンを優勝に導く。晩年は薬物、肥満など破滅的。▼ロッシ(伊)も。12月10日・64歳。82年W杯得点王・V。て2ゲーム先取の超短期決戦。1人4戦、個人成績を争った。セルブジャジ、カウントコルなど。ルール&マナーも学んだ。熱戦の末、2番コートは村松絵美、3番・横井豊、4番・實原良江がそれぞれ優勝。栄光のVみそを獲得。2位にカツプラーメン、3位にカツプジャムブービー賞に「腕も磨いて」と歯みがきを贈った。本年度第3期は来年1月から17人は3班に別れ、ペアを替え



ダイエゴ・マラドーナ。サッカー選手・監督。11月25日、脳腫

**神の手マラドーナ60歳**

東大特別栄誉教授。豊橋市生まれ。11月12日、老衰のため死去。94歳。飛騨市(旧神岡町)にカミオカンデを建設、超新星爆発で放出された素粒子「ニュートリノ」の検出に成功。



小柴昌俊(こしば 昌俊)。2011年ノーベル物理学賞受賞。

**ニュートリノでノーベル賞**

◆死刑囚で再審無罪の免田氏 免田(あめだ)に「さかえ」。熊本県人吉で1948年に一家4人殺害で死刑確定。83年に死刑囚初の再審無罪。12月5日、老衰で死去。95歳。獄中手記出版、各地の再審請求支援、死刑廃止を訴える。

◆笑いの親分：小松政夫 78歳 小松政夫(こまつ まさお)。コメデアン。12月7日、肝細胞がんで死去。78歳。福岡出身。植木等の付き人。ひょうきんなん人柄で伊東四郎らと活躍。「小松の親分」として「らけ島音頭」「電線音頭」を広げる。

**「勝負」見ず国会閉会**

「勝負」の3週 待たず国会閉会 幕を閉じ「河井元法相事件は2元農水相に飛び火。」「お答えは差し控える」と首相は答弁拒否連発。学術会議しかり。張本人・杉田副長官、本音は「軍事研究しろ」。戦争協力を反省、1949年設立。過去3度軍事研究を拒み、ミラマレて介入を受け続けた。政府から独立させる？スリ替えた。「桜」はウソつき通した安倍答弁。(二)

**藤井君、200勝に笑顔なし**

藤井聡太2冠(王位・棋聖)は11月20日、王将戦挑戦者7人リーグで木村一基九段に勝ち3勝3敗で終えたが



**堂々 王位就位式**

藤井聡太王位・棋聖の王位就位式が11月12日、東京で行われた。藤井王位は木村一基前王位に4連勝してタイトルを奪取、史上最年少で2冠を達成した。日本将棋連盟の佐藤康光会長から就位状、王位杯を受けた藤井王位は「奨励会員の時に現地の控室を見学に行った思い出がある。その舞台に対局者として立つことができたのは特別の喜び。初の2日制対局で毎回新しい発見があった」と謝辞を述べた。



永瀬王座に敗れ王将戦リーグ3連敗の藤井君(右)。後半3連勝も及ばず陥落

た。王将戦は羽生九段、豊島2冠、永瀬王座に敗れ3連敗のスタート。後半は3連勝したが前

**銀河戦 最年少V**

8大タイトル以外で藤井君は12月12日放送のテレビ棋戦・第28期銀河戦決勝で元竜王の糸谷哲郎八段(32)を破り最年少・18歳2か月(対局日は10月15日)で優勝した。銀河戦は持ち時間15分十考慮時間10分の早指し。これまで最年少は渡辺明3冠(36)の21歳4か月。今回藤井君は決勝トーナメントで永瀬王座、木村前王位を破って決勝進出していた。

STKニュース 瀬戸市テニス協会業務部長発行の会報。原則隔月、1975年(昭和50)創刊。98年から定期発行。第10号まで梶田俊幸・元理事が制作。11号(2000年)から近藤峰夫が担当。発送とともに協会HPに掲載しています。

次号は21年3月